

経営比較分析表（令和3年度決算）

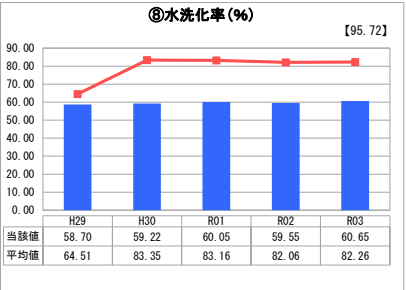
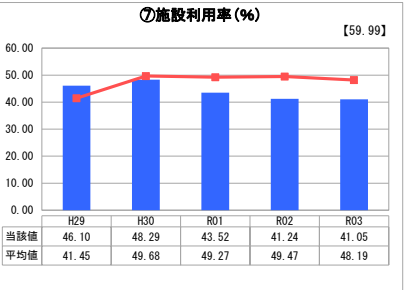
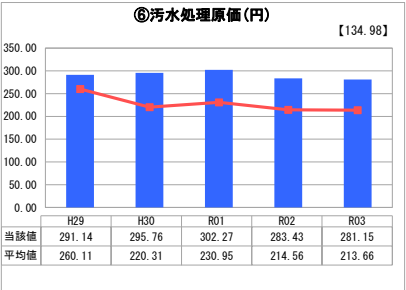
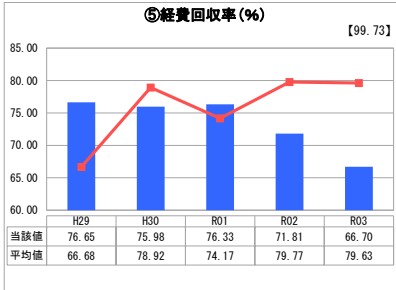
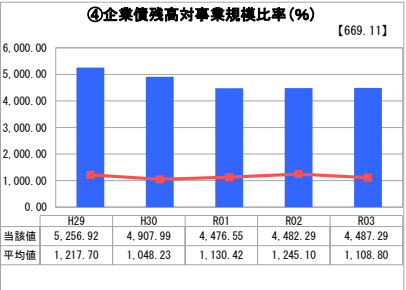
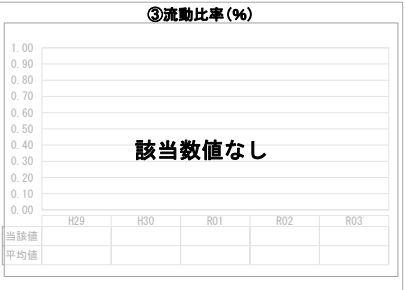
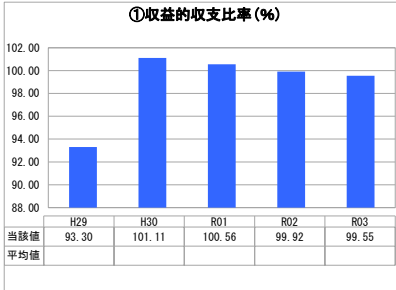
北海道 古平町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	83.22	84.83	4,135

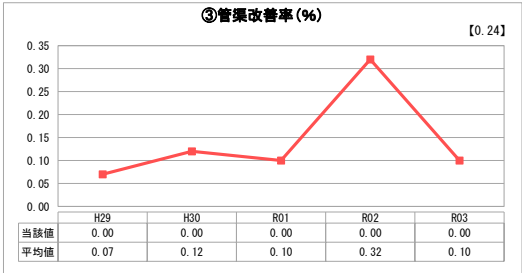
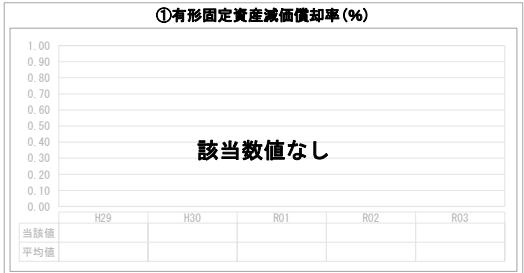
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,798	188.36	14.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,292	1.26	1,819.05

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和3年度決算については、新型コロナウイルス感染症による経済的影響への支援措置として、従量料金の減免を、令和2年度よりも3か月、長い期間で行ったため、前年よりも使用料は減収となり、その減収相当分は一般会計から繰入を行いました。

起債償還金の減少傾向は継続しておりますが、依然として収入の大半を一般会計からの繰入に依存している状況現状に変わりはなく、将来的な未整備地区の整備や施設の老朽化に伴う更新事業に対応するには、厳しい財政状況であります。

今後も類似団体の平均値より低い水準となっている水洗化率の改善に努めなければなりません。

2. 老朽化の状況について

本町の下水道は平成16年に供用を開始し、最も古い施設では19年が経過しています。

今後は、「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設の老朽化対策を実施する予定です。

全体総括

下水道事業の経営状況については、料金改定による増収と水洗化率の向上は多少期待できますが、将来的には人口減少による料金収入の減収が想定されます。

また、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加、新たな更新費用が発生することも想定されるため、経営戦略に基づいて経営改善に取り組んでいきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。